

令和元年度 都城市立中霧島小学校 学校関係者評価書

教育目標 ふるさとを愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成

4:目標値を大きく上回る 3:目標値を上回る 2:目標値をやや下回る 1:目標値を大きく下回る

項目	評価指標	数 値 目 標	方 策 等	自己 評定	学校関係者 評 定	学 校 関 係 者 の 意 見
知 育	授業改善を通じた学力向上	○ CRTの算数で全学年全国平均を上回る。 ○ ワークテスト 各教科の平均正答率が80%以上	・ 理解度を1単位時間の授業で評価し、定着や習熟を図る時間を確保する。 ・ 読み、書き、計算等の基礎学力を定着させる。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の様子を参観しても児童の積極的な姿勢が目立っていた。</li> <li>CRTの結果に学力の向上が見られる。今後もさらに期待したい。また、努力することの大切さも育んでいってほしい。</li> <li>共稼ぎ家庭が増加し、家庭学習の様子を見れない親も多いのではないかと。そのことが家庭学習の取組に関する親子のズレとなっているのではないかと。</li> <li>「家庭学習の手引き」をさらに浸透させ、家庭での学習時間の充実を図ってほしい。</li> <li>読書を推進し、家での読書時間が増えるようになってほしい。</li> <li>宿題しかしていない児童も見られる。宅習のやり方等も再度指導していってほしい。</li> </ul>
	学習習慣・態度の育成	○ 「始業時チャイム黙想」に関する評価項目85%以上 ○ 児童の個人年間読書量 上学年50冊以上、下学年60冊以上	・ 学力向上の基本である「基本的生活習慣」「基本的学習習慣」の定着に向け、「山田ブロック9年教育」の徹底を図る。	3		
	個に応じた指導の育成	○ 個別の指導計画の作成及び活用に関する評価90%以上	・ 指導方法の工夫改善に努めるとともに、個別の指導計画を累積し、指導の充実を図る。	4		
	家庭学習の充実	○ 家庭に具体的な学習方法を示した手引きの配付と説明を行う。90%以上 ○ 家庭学習についての評価得点率 児童90%以上、保護者80%以上	・ 家庭学習の手引きを活用し、保護者と連携しながら学習習慣を身に付けさせる。	2		
徳 育	基本的な生活習慣の定着	○ 自己評価の得点率 あいさつ関連90%以上 廊下歩行関連80%以上 ○ 避難訓練（不審者、風水害、地震、火災）の確実な実施と懇談会で保護者への啓発を行う。 評価90%以上	・ 「中小よい子のきまり」を徹底させる。 ・ 常に、「挨拶、安全、後始末、ありがとう」（4つの「あ」）を心掛けて生活させる。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導上配慮を要する児童がいるが、学校が保護者との関係を大切にしながら進めていることはとてもいいことだと思う。まずは、学校と保護者との信頼関係があつてこそ前進していくのであって、そこから少しずつ改善の方向へ導いていってほしい。</li> <li>「悪いから～しなさい。」ではなく、その子を取り巻く環境や状況をまず受けとめて、学校と親と一緒に解決していこうという姿勢が大切であるし、そのように進めている学校の方針は正しいと思う。</li> <li>一人一人を大切にし、職員がスクラムを組んで子ども達の健全育成のために取り組む姿勢は学校側への信頼となっていると思う。</li> <li>学校と幼稚園生との交流は、とてもよかった。園児（年長）は小学校への期待感が高まっていた。小学校側も、生徒指導面で有効な体験活動であった。</li> </ul>
	体験活動の充実	○ 参観日において道德の授業を全学年実施するとともに懇談での保護者への啓発を行う。 ○ 集団登校に、縦割り清掃、集会活動への積極的な関わりを目指す。 評価80%以上	・ 道德の時間を充実させ、実践力を育成する。 ・ 異年齢集団による活動の充実を図る。	3		
	人権教育の推進	○ すこやかアンケート、すこやか会議を計画的に実施する。評価90%以上 ○ 言葉遣いに関する児童の評価得点率 評価80%以上 ○ 学校に行くのが楽しいと答える児童 評価90%	・ いじめ撲滅を目指すとともに、自尊感情を育て、自他の人権を尊重する態度を育成する。	3		
	環境教育の推進	○ 無言清掃に関する児童の自己評価 80%以上 ○ 校庭・花壇の環境整備に関する評価 80%以上 ○ 朝のボランティア活動に関する評価 80%以上	・ 清掃指導を中心に、無言清掃の徹底を図るとともに、環境美化活動の充実を図る。	4		
体 育	健康で安全な生活習慣の育成	○ 全校で無欠席の日 20日以上 ○ むし歯の治療率 70%以上	・ 運動、栄養、休養に気をつけ、明るく元気に生活させる。 ・ 安全（生活、交通、災害）についての「知識」と「知恵」を身に付けさせる。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢のいい子は、学力も高い傾向がある。今後、さらに立腰指導を進めていってほしい。</li> <li>よい姿勢をする習慣をつけることは、成長期の児童にとっては、特に大切なことである。大人も最近スマホ猫背が増えており、視力だけでなく子どもにも悪い影響を与えていると感じている。</li> <li>むし歯の治療率がもっと上がってほしい。乳歯を悪くすることがどんな悪影響をおよぼすのか保護者にもっと伝えてほしい。</li> </ul>
	基礎体力の増進	○ 外遊びに関する児童の自己評価 80%以上 ○ 体力向上に関する教職員評価 80%以上	・ 教科体育の指導を充実させ体を動かすことが好きな子どもを育成する。 ・ 体育的行事の充実を図る。	3		
	食に関する指導の充実	○ 弁当の日に関する評価 80%以上 ○ 給食に関する自己評価 80%以上	・ 給食指導の充実を図るとともに、「弁当の日」の実践を通して、家庭との連携を図る。	3		
	集団作りの指導	○ 学習中の立腰や集団行動に関する評価 80%以上	・ 立腰指導を含め、集団行動様式の指導を実践し、集団のルール・マナーを体得させる。	2		
地域 教育	地域素材や人材を生かした教育活動の充実	○ 地域素材や人材を生かした教育活動の充実に関する評価 80%以上	・ 学校支援ボランティアと連携し、地域人材の活用を行う	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も地域の教育力を生かし、地域と学校のパイプを太くしていってほしい。</li> <li>「霧っ子まつり」は、次年度さらに地域との関わりを深め、学校と地域の合同行事としてもっといいものにしていってほしい。</li> </ul>
	学校評価を生かした教育活動の実践・評価	○ 学校評価を生かした教育活動に関する評価	・ 学校からの情報提供を積極的に行う。 ・ PDCAサイクルを機能させる。	3		